【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成27年7月30日(2015.7.30)

【公開番号】特開2014-2305(P2014-2305A)
【公開日】平成26年1月9日(2014.1.9)
【年通号数】公開・登録公報2014-001
【出願番号】特願2012-138628(P2012-138628)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｇ　15/02　(2006.01)
Ｆ１６Ｃ　13/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｇ　15/02　１０１
Ｆ１６Ｃ　13/00　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成27年6月16日(2015.6.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
表面が粗面化されている帯電部材であって、
導電性基体と、表面層としての導電性樹脂層とを有し、
該導電性樹脂層には、タンパク質からなる繊維集合体粒子が固定されており、
該繊維集合体粒子は、該導電性樹脂層から露出して、該導電性樹脂層の表面に凸部を形成していることを特徴とする帯電部材。
【請求項２】
前記繊維集合体粒子が、ケラチン、フィブロイン及びコラーゲンの繊維集合体粒子の群から選ばれる少なくとも１種であることを特徴とする請求項１に記載の帯電部材。
【請求項３】
前記繊維集合体粒子の前記導電性樹脂層への固定化量が、０．１ｍｇ／ｃｍ^{2}以上、１．０ｍｇ／ｃｍ^{2}以下である請求項１または２に記載の帯電部材。
【請求項４】
前記前記繊維集合体粒子の前記導電性樹脂層への固定化量が、０．３ｍｇ／ｃｍ^{2}以上、０．７ｍｇ／ｃｍ^{2}以下である請求項３に記載の帯電部材。
【請求項５】
請求項１～４のいずれか一項に記載の帯電部材が電子写真感光体と少なくとも一体化されたプロセスカートリッジであって、電子写真装置の本体に着脱可能に構成されていることを特徴とするプロセスカートリッジ。
【請求項６】
請求項１～４のいずれか一項に記載の帯電部材と、該帯電部材によって帯電される電子写真感光体とを有することを特徴とする電子写真装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００９２
【補正方法】変更
【補正の内容】

【００９２】

この塗料をディッピング法により、実施例１で得られたものと同様の弾性ローラの表面に塗工し、３０分間風乾した。その後、ＩＰＡ中に合成例１で得られた繊維集合体粒子１を１．４ｇ／ｍｌの濃度で分散した塗工液中に、弾性ローラを浸漬してディッピング法により塗工した。しかる後に８０℃のオーブンで３０分間乾燥し、更に１６０℃で６０分間加熱して「帯電ローラ２０」を得た。導電性樹脂層の膜厚は２５μｍ、導電性樹脂層の体積抵抗率は１．３×10^{14}Ω・ｃｍであった。